

令和7年 7月18日

令和6年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学校名	管理機関名	設置者の別
足利市立毛野小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

○計画通り実施できている

- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

○実施している

- ・実施していない

(3) 自校における評価

令和3年度から令和5年度の3年間、本校は「外国語」の研究に取り組んだ。その結果、各担任は「目的・場面・状況」を意識した授業を展開するようになり、どの学年においても、「必然性のある言語活動」を取り入れた学習を実施することができるようになっている。児童は、学年が上がるにつれ、英語を使うことに対する抵抗が少なくなり、基礎的な英語によるコミュニケーション能力の育成につながってきている。授業で積極的に発言する者も多く、臆することなく英語で発表できる児童も少なくない。授業中に限らず、休み時間などに、ALTやEAAと積極的に会話を試みる様子が見られている。年に1度、5・6年生は英語チャレンジDAYを実施し、2校時から6校時まで英語による授業を行っている。児童は、数多くのALT・EAAとの交流を楽しみにしており、意欲的に取り組む姿が見られる。

(4) 学校関係者による評価

- ・英会話学習についての意識は高まっている。
- ・英語を用いた活動を楽しんでいる児童が多い。
- ・ALTやEAAとの活動を楽しみにしている児童が多い。

### 3. 実施の効果及び課題

#### <実施の効果>

- ・低学年から英語に触れる機会があることで、英会話学習が好きである児童が多い。本校は外国籍の児童が多く、異国の文化を理解するために、第1学年から英会話学習を実施することは大変有意義である。今後も第1学年からの英会話学習を継続していきたい。
- ・3年間の研究を通して、英会話活動の「型」、適切な「言語活動」の設定を用いることで、授業が進めやすくなったと感じている教師が多い。

#### <課題>

- ・第3学年、第4学年は、特別な教育課程「英会話学習」の他に外国語活動の授業がある。そのため、足利市で作成された「英会話学習指導計画」の内容では、活用しにくい部分もある。
- ・ALTやEAAの勤務時間の関係から、授業の打合せを昼休みや放課後の隙間時間に行わざるを得ない。さらに、担任は児童対応や児童会活動、出張などで立ち会えない場合もある。打合せ時間を十分に確保することが難しい現状がある。

### 4. 課題の改善のための取組の方向性

- ・足利市の「英会話学習指導計画」の内容が新しくなるまでは、自校で英会話学習の指導案を考え対応していく。
- ・予定に組まれた打合せ時間を可能な限り優先していくが、全員が集まるのが難しい場合は、立ち会える担任だけで打合せを行い、あとで伝達する形で対応をする。